

[団体情報]

社会福祉法人三幸福社会（清華苑）

2030年までに達成したいこと

- 住民が住み慣れた地域で、健康な生活を長く続けられる環境を作る。
- 専門職による福祉教育等を通して、地域福祉力の向上を図る。

目指すゴール



SDGsの取り組み紹介



- ・明石市や明石市社会福祉協議会等と協議した上で、地域住民の方の健康作りの場としてもらうために健康教室「姿勢がよくなるバレエ体操」の開催したり、住み慣れた地域で長く生活し続けられるために福祉相談会等を月1回のペースで開催しています。（明石市立ふれあいの里大久保 他）
- ・職員の健康増進のため、事業所内にトレーニングマシンを設置し、運動系サークルも立ちあげました。またICT導入(インカムや電子カルテ、タブレット等)により業務省力化を進めています。
- ・専門職による福祉教育等を通して福祉・介護に興味関心を持ってもらい、さらには地域福祉の担い手になってもらうことで地域福祉力を向上させる取り組みを行っています。
 - ①明石市内の中学校、高等学校や企業、地域団体等へ専門職を派遣して福祉教育等を行っています。（市立高丘中、県立明石南高校、JAあかしなど）
 - ②明石市内の中学校、高等学校や企業、地域団体等からの介護体験等の受け入れを行っています。（市立高丘中、市立大久保中、市立大久保北中、県立明石南高校、県立明石清水高校、明石市役所など）
 - ③明石市による委託事業「明石市生活援助訪問型サービス従事者養成研修」の開講を通して、地域福祉の担い手を増やしたり、介護業界の働き手の確保に取り組んでいます。

